

## 第6章 地区別計画

- 1 厚木北地区
- 2 厚木南地区
- 3 依知北地区
- 4 依知南地区
- 5 睦合北地区
- 6 睦合南地区
- 7 睦合西地区
- 8 荻野地区
- 9 小鮎地区
- 10 南毛利地区
- 11 南毛利南地区
- 12 玉川地区
- 13 森の里地区
- 14 相川地区
- 15 緑ヶ丘地区

## 第6章

### 地区別計画

# 1 厚木北地区

## 現状と課題

- マンションの建設による子育て世代等の増加があり、高齢化率は低いものの、高齢者世帯、ひとり暮らし高齢者などが増加傾向にあり、日常生活、介護及び子育てなどへの不安解消に取り組む必要があります。
- 近隣住民とのつながりが希薄傾向にある高齢者及び子育て世帯が、増加しており、災害時の対応を含め、日頃から見守り活動及び居場所づくりが求められています。

### ■ 地区別データ

令和2年10月1日 現在

区分	市	厚木北地区	区分	市	厚木北地区
人口	223,585 人	22,959 人	身体障害者手帳 取得者	5,938 人	589 人
年少人口 (0~14 歳)	26,767 人	2,770 人	療育手帳所持者	1,957 人	149 人
生産年齢人口 (15~65 歳)	139,102 人	15,537 人	精神障害者保健 福祉手帳所持者	1,942 人	242 人
老年人口 (65 歳以上)	57,716 人	4,652 人	後期高齢者人口 (75 歳以上)	27,490 人	2,243 人
高齢化率 (65 歳以上)	25.81%	20.26%	高齢化率 (75 歳以上)	12.29%	9.76%
要支援(1・2)	1,963 人	182 人	要介護(1~5)	6,267 人	582 人
避難行動要支援 者登録数	2,642 人	265 人			

## 取組方針

- あいさつや声掛けなど住民相互の身近な交流を通じた、見守り活動を推進します。
- 高齢者及び子育て世帯が、気軽に集える場を作り、不安解消を図ります。

## 主な取組

### 1 見守り活動の充実

- ひとり暮らし高齢者の安否確認事業として、敬老会及び会食会等の実施
- 世代間交流給食会の実施

### 2 地域における居場所づくり

- 子育てサロン「ふれあいとおしゃべりの部屋」の開催
- ミニデイサービスの実施

### 3 地域で支え合う人づくり

- 昔あそび教室等の世代間交流事業の実施
- 地域福祉に関する研修会の開催及び広報紙による活動の周知
- ボランティア団体の支援及び育成

## 主な指標

指標	年度	前回値	現状値	目標値	
		H28(2016)年度	R元(2019)年度	R5(2023)年度	R7(2025)年度
ミニデイサービスの参加者数		407人	352人	350人	370人
子育てサロン「ふれあいとおしゃべりの部屋」参加者数		286人	130人	180人	200人

## 第6章

### 地区別計画

## 2 厚木南地区

### 現状と課題

- 少子高齢化や核家族化の進展により、高齢者世帯やひとり暮らしの高齢者が増加傾向にあり、買い物等の日常生活や健康などへの不安が高まっていることから、それらの不安解消を図るための方策が求められています。
- 集合住宅や単身世帯の増加等により地域住民相互の結びつきが弱まりつつあることから、高齢者等の地域での居場所づくりはもとより、サービス供給側である地域福祉の担い手の確保など地域ぐるみでの取組の重要性が増大しています。

### ■ 地区別データ

令和2年10月1日 現在

区分	市	厚木南地区	区分	市	厚木南地区
人口	223,585人	11,960人	身体障害者手帳取得者	5,938人	306人
年少人口 (0~14歳)	26,767人	1,108人	療育手帳所持者	1,957人	67人
生産年齢人口 (15~65歳)	139,102人	7,831人	精神障害者保健福祉手帳所持者	1,942人	132人
老年人口 (65歳以上)	57,716人	3,021人	後期高齢者人口 (75歳以上)	27,490人	1,601人
高齢化率 (65歳以上)	25.81%	25.25%	高齢化率 (75歳以上)	12.29%	13.38%
要支援(1・2)	1,963人	129人	要介護(1~5)	6,267人	373人
避難行動要支援者登録数	2,642人	153人			

### 取組方針

- 会食会やミニデイサービスなどを通じて、高齢者の地域福祉活動への参加を促進することにより、地域とのつながりや見守りのネットワーク体制の強化を図ります。
- 子育てサロン事業を通じて、将来の地域の担い手の確保に資するため、地域ぐるみで子育て支援を図ります。

## 主な取組

### 1 見守り活動の充実

- ミニデイサービスの実施
- 宅配サービスの実施
- ひとり暮らしの高齢者への年賀状の発送

### 2 地域における居場所づくり

- 世代間交流給食会の実施
- 会食会の実施
- 敬老事業の実施

### 3 地域で支え合う人づくり

- 子育てサロンの実施
- 視察研修や広報発行による地域福祉の担い手の育成
- 福祉バザーの実施

## 主な指標

指標	年度	前回値	現状値	目標値	
		H28(2016)年度	R元(2019)年度	R5(2023)年度	R7(2025)年度
ミニデイサービスの参加者数		1,672人	1,490人	1,500人	1,550人
会食会・世代間交流給食会の参加者数		230人	210人	200人	220人

## 第6章

### 地区別計画

## 3 依知北地区

### 現状と課題

- 高齢化率は市の平均と同等の割合であるが、外国籍の居住者は増加しており、民生委員・児童委員や地区市民センターなどに相談される事例は多岐にわたっています。
- 家族や御近所との関係が希薄になっていく中、高齢者の孤立は地域の大きな課題となっています。その防止には地域での見守りや人とのつながり、助け合いを充実させる必要があります。

#### ■ 地区別データ

令和2年10月1日 現在

区分	市	依知北地区	区分	市	依知北地区
人口	223,585人	18,201人	身体障害者手帳取得者	5,938人	499人
年少人口 (0～14歳)	26,767人	2,115人	療育手帳所持者	1,957人	161人
生産年齢人口 (15～65歳)	139,102人	11,329人	精神障害者保健福祉手帳所持者	1,942人	127人
老年人口 (65歳以上)	57,716人	4,757人	後期高齢者人口 (75歳以上)	27,490人	2,033人
高齢化率 (65歳以上)	25.81%	26.13%	高齢化率 (75歳以上)	12.29%	11.16%
要支援(1・2)	1,963人	144人	要介護(1～5)	6,267人	491人
避難行動要支援者登録数	2,642人	182人			

### 取組方針

- 地区規模の事業や自治会単位によるミニデイサービスなどを通じて、地域に住む高齢者の見守りに努めます。
- ふれあい給食会や子育てサロンなどの事業を通じて、地域全体で子育てを支援できるよう目指します。
- 地域内における福祉ボランティア団体等による小規模のサロン活動を積極的に支援し、地域における見守りの関係づくりを促進します。

## 主な取組

### 1 見守り活動の充実

- 敬老会等の地区規模での事業の実施
- 敬老祝品の配布による訪問の高齢者見守り事業の実施

### 2 地域における居場所づくり

- 自治会単位でのミニデイサービスの実施
- 毎月の子育てサロンの実施

### 3 地域で支え合う人づくり

- 福祉ボランティア団体による支え合い活動の実施
- 地域でのボランティア育成を図り、育成事業を実施

## 主な指標

指標	年度	前回値	現状値	目標値	
		H28(2016)年度	R元(2019)年度	R5(2023)年度	R7(2025)年度
ミニデイサービスの参加者数		582人	681人	350人	550人
福祉ボランティア団体の支え合い活動の参加者数		3,860人	5,227人	3,500人	5,000人

## 第6章

### 地区別計画

## 4 依知南地区

### 現状と課題

- 高齢化が進み日常生活への不安を抱く方や、要支援・要介護など介護を必要とされる方への不安解消に取り組む必要がある。
- 高齢者人口が増加傾向にあり、見守りや居場所づくりなどを充実する必要がある。

#### ■ 地区別データ

令和2年10月1日 現在

区分	市	依知南地区	区分	市	依知南地区
人口	223,585人	13,131人	身体障害者手帳取得者	5,938人	344人
年少人口 (0～14歳)	26,767人	1,674人	療育手帳所持者	1,957人	97人
生産年齢人口 (15～65歳)	139,102人	8,215人	精神障害者保健福祉手帳所持者	1,942人	129人
老年人口 (65歳以上)	57,716人	3,242人	後期高齢者人口 (75歳以上)	27,490人	1,462人
高齢化率 (65歳以上)	25.81%	24.68%	高齢化率 (75歳以上)	12.29%	11.13%
要支援(1・2)	1,963人	80人	要介護(1～5)	6,267人	329人
避難行動要支援者登録数	2,642人	147人			

### 取組方針

- 共に支え合う地域社会を築くために、住民の福祉ニーズに応じた地域福祉活動を推進する。
- 世代を越えて交流できる場の充実を図る。
- 自治会単位のミニデイサービスや地区の敬老会を開催し、地域のつながりと高齢者の見守りに努める。

## 主な取組

### 1 見守り活動の充実

- 広報紙「みなみの風」を発行し、地域福祉活動に関する情報提供
  - 高齢者見守り事業（祝品の配布）の実施
  - 地区の高齢者を招き「敬老会」を公民館で実施
- ※ 敬老会等の事業の周知の際に見守りを行う。

### 2 地域における居場所づくり

- ミニデイサービスの開催
- 世代間交流給食会の開催
- 子育てサロン「えっちゃん」の開催

### 3 地域で支え合う人づくり

- 地域福祉推進委員会委員研修会の実施

## 主な指標

指標	年度	前回値	現状値	目標値	
		H28(2016)年度	R元(2019)年度	R5(2023)年度	R7(2025)年度
ミニデイサービスの参加者数		108人	178人	200人	220人
子育てサロン「えっちゃん」の参加者数		311人	119人	120人	120人

## 第6章

### 地区別計画

## 5 睦合北地区

### 現状と課題

- 高齢者世帯やひとり暮らしの高齢者が増加傾向にあり、災害時や日常生活での不安が高まっています。
- 地域における高齢者の健康維持・生きがいの創出を促進するための居場所づくりに取り組む必要があります。

### ■ 地区別データ

令和2年10月1日 現在

区分	市	睦合北地区	区分	市	睦合北地区
人口	223,585人	9,784人	身体障害者手帳取得者	5,938人	266人
年少人口 (0~14歳)	26,767人	1,095人	療育手帳所持者	1,957人	85人
生産年齢人口 (15~65歳)	139,102人	6,043人	精神障害者保健福祉手帳所持者	1,942人	93人
老年人口 (65歳以上)	57,716人	2,646人	後期高齢者人口 (75歳以上)	27,490人	1,285人
高齢化率 (65歳以上)	25.81%	27.04%	高齢化率 (75歳以上)	12.29%	13.13%
要支援(1・2)	1,963人	69人	要介護(1~5)	6,267人	314人
避難行動要支援者登録数	2,642人	132人			

### 取組方針

- 地域で安心して過ごせるよう、見守り活動の充実を図ります。
- 自治会館などを利用し、気軽に集まれる居場所を作ります。
- 地域を支える人づくりのため、ボランティアの人材育成や各種団体との連携強化を図ります。

## 主な取組

### 1 見守り活動の充実

- 「あんしん袋」と「敬老祝品」の配布
- 住民同士の見守り活動サポート

### 2 地域における居場所づくり

- 自治会館を活用した定期的なふれあいの場づくり
- 健康体操教室の開催

### 3 地域で支え合う人づくり

- ボランティアの発掘と育成
- 研修会の実施

## 主な指標

指標	年度	前回値	現状値	目標値	
		H28(2016)年度	R元(2019)年度	R5(2023)年度	R7(2025)年度
地域福祉推進委員による訪問人数		330人	1,266人	1,450人	1,550人
ふれあいの場の参加者数		—	945人	1,150人	1,250人

## 第6章

### 地区別計画

## 6 睦合南地区

### 現状と課題

- 高齢化に伴う諸課題は、ますます複雑化している状況にあります。地域福祉の様々な事業を通し、実状をあぶり出し、地域ぐるみで共有することにより、風通しをよくする仕組みづくりが必要です。
- 高齢者の居場所を増やすなど、ゆるやかな見守りの仕組みづくりを実現するため、担い手となる地域の人的資源を活用し、無理のない範囲で組織化する必要があります。

#### ■ 地区別データ

令和2年10月1日 現在

区分	市	睦合南地区	区分	市	睦合南地区
人口	223,585人	20,626人	身体障害者手帳 取得者	5,938人	543人
年少人口 (0~14歳)	26,767人	2,657人	療育手帳所持者	1,957人	165人
生産年齢人口 (15~65歳)	139,102人	12,939人	精神障害者保健 福祉手帳所持者	1,942人	214人
老年人口 (65歳以上)	57,716人	5,030人	後期高齢者人口 (75歳以上)	27,490人	2,343人
高齢化率 (65歳以上)	25.81%	24.38%	高齢化率 (75歳以上)	12.29%	11.35%
要支援(1・2)	1,963人	199人	要介護(1~5)	6,267人	548人
避難行動要支援 者登録数	2,642人	243人			

### 取組方針

- 気軽に立ち寄れるカフェ活動など、これまでよりも小規模の単位で開催し、感染防止も踏まえた活動を目指して取り組みます。(えんがわのカフェ等)
- 地域の福祉に携わった経験がある方、地域の福祉に興味、意欲がある方などの人的資源を活用し、きめ細かな地域で集う場所を提供できるようボランティアの育成に力を入れます。
- 現行の仕組みを見直し、より具体的かつ柔軟な組織体制を目指します。

## 主な取組

### 1 ゆるやかな見守り活動の充実

- 地域の人的資源の育成と組織化
- 地域の様々な福祉活動の紹介と啓発
- すべての事業を通しての人と人（世代間）との交流の交流の推進

### 2 地域における居場所づくり

- きめ細かな地域での展開を目指したミニデイサービス等実施の推進

### 3 地域で支え合う人づくり

- 支えあい活動への地域ぐるみの参加と啓発
- 地域の人的資源を活用できるような各事業の展開方法の検討

## 主な指標

指標	年度	前回値	現状値	目標値	
		H28(2016)年度	R元(2019)年度	R5(2023)年度	R7(2025)年度
ミニデイサービス（カフェ会）等の参加人数		1,805人	4,044人	4,200人	4,500人
人と人（世代間）との交流の場への参加者数		—	1,900人	2,500人	2,800人
担い手の育成を目指す研修・啓発への対象者数		—	64人	80人	100人

## 第6章

### 地区別計画

## 7 睦合西地区

### 現状と課題

- 少子化・高齢化が急速に進み、地域住民相互のつながりが希薄化しているため、日頃から地域での見守りを行うとともに、地域の居場所づくりが必要です。
- 福祉関連団体の構成員も高齢化が進んでいるため、新たな人材の育成が必要です。

### ■ 地区別データ

令和2年10月1日 現在

区分	市	睦合西地区	区分	市	睦合西地区
人口	223,585 人	9,890 人	身体障害者手帳取得者	5,938 人	258 人
年少人口 (0~14 歳)	26,767 人	1,299 人	療育手帳所持者	1,957 人	99 人
生産年齢人口 (15~65 歳)	139,102 人	6,256 人	精神障害者保健福祉手帳所持者	1,942 人	81 人
老年人口 (65 歳以上)	57,716 人	2,335 人	後期高齢者人口 (75 歳以上)	27,490 人	1,217 人
高齢化率 (65 歳以上)	25.81%	23.60%	高齢化率 (75 歳以上)	12.29%	12.30%
要支援(1・2)	1,963 人	83 人	要介護(1~5)	6,267 人	257 人
避難行動要支援者登録数	2,642 人	125 人			

### 取組方針

- 普段からの御近所付き合いやあいさつ運動など、身近にできる見守り活動の取組を推進します。
- 気軽にお茶やおしゃべりができる憩いの場を作ります。
- 福祉関連団体を担う人材やボランティアの育成を推進します。

## 主な取組

### 1 見守り活動の充実

- 昼食宅配、クリスマスケーキ宅配などによる見守り活動
- 敬老祝品や災害時安心袋を配布しながらの見守り活動
- 地域のあいさつ運動・登下校時の愛の目運動の推進

### 2 地域における居場所づくり

- 子育てサロン「ぽっぽちゃん」の開催
- 自治会単位のミニデイサービスの開催
- みんなで軽体操の開催
- ふらっとスポーツの開催
- コーヒーサロンの開催

### 3 地域で支え合う人づくり

- 地域福祉講習会の開催
- ボランティアの発掘と育成

## 主な指標

指標	年度	前回値	現状値	目標値	
		H28(2016)年度	R元(2019)年度	R5(2023)年度	R7(2025)年度
みんなで軽体操の参加者数		701人	1,027人	1,283人	1,603人
ふらっとスポーツの参加者数		—	691人	711人	732人

## 第6章

### 地区別計画

# 8 荻野地区

#### 現状と課題

- ひとり暮らし高齢者、要支援・要介護認定者など的高齢者が増加しているため、日常生活や介護などへの不安解消に取り組む必要があります。
- 高齢者人口が増加しているため、地域ごとの交流を深めながら見守りや居場所づくりなどを充実する必要があります。

#### ■ 地区別データ

令和2年10月1日 現在

区分	市	荻野地区	区分	市	荻野地区
人口	223,585人	25,633人	身体障害者手帳取得者	5,938人	726人
年少人口 (0～14歳)	26,767人	3,126人	療育手帳所持者	1,957人	355人
生産年齢人口 (15～65歳)	139,102人	15,056人	精神障害者保健福祉手帳所持者	1,942人	228人
老年人口 (65歳以上)	57,716人	7,451人	後期高齢者人口 (75歳以上)	27,490人	3,739人
高齢化率 (65歳以上)	25.81%	29.06%	高齢化率 (75歳以上)	12.29%	14.58%
要支援(1・2)	1,963人	209人	要介護(1～5)	6,267人	844人
避難行動要支援者登録数	2,642人	349人			

#### 取組方針

- 互いに交流を深め、地域の見守り活動を推進します。
- 地域の人達が集まり、お話できる場所を作ります。
- 地域福祉をサポートするボランティアを育成します。

## 主な取組

### 1 見守り活動の充実

- ひとり暮らし昼食会の実施
- ひとり暮らしのお宅へ安否確認を兼ねた訪問
- 見守りやまびこ通信の発行

### 2 地域における居場所づくり

- 子育てサロン「ひなたぼっこ」の開催
- 地域茶話会の実施
- 居場所づくり事業への支援

### 3 地域で支え合う人づくり

- 体験ボランティアの募集
- ボランティアによる地域福祉事業への参加

## 主な指標

指標	年度	前回値	現状値	目標値	
		H28(2016)年度	R元(2019)年度	R5(2023)年度	R7(2025)年度
ひとり暮らし高齢者の安否確認を兼ねた訪問人数		7,454 人	8,813 人	9,000 人	9,300 人
子育てサロン「ひなたぼっこ」及び「地域茶話会」参加者数		426 人	315 人	350 人	400 人

## 第6章

### 地区別計画

# 9 小鮎地区

#### 現状と課題

- 高齢者世帯やひとり暮らしの高齢者が増加傾向にあり、買い物などの日常生活や健康などの不安が高まっているため、それらの不安の解消に取り組む必要があります。
- ボランティア会員など的高齢化に伴い、次世代の活動者や地域福祉活動の担い手の育成に取り組む必要があります。

#### ■ 地区別データ

令和2年10月1日 現在

区分	市	小鮎地区	区分	市	小鮎地区
人口	223,585人	14,023人	身体障害者手帳取得者	5,938人	405人
年少人口 (0～14歳)	26,767人	1,433人	療育手帳所持者	1,957人	102人
生産年齢人口 (15～65歳)	139,102人	8,141人	精神障害者保健福祉手帳所持者	1,942人	125人
老年人口 (65歳以上)	57,716人	4,449人	後期高齢者人口 (75歳以上)	27,490人	1,953人
高齢化率 (65歳以上)	25.81%	31.72%	高齢化率 (75歳以上)	12.29%	13.92%
要支援(1・2)	1,963人	141人	要介護(1～5)	6,267人	457人
避難行動要支援者登録数	2,642人	203人			

#### 取組方針

- 世代を越えて助け合いのできる地域社会を築くため、各種団体等と連携し地域福祉活動の推進を図ります。
- 「向こう三軒両隣」の精神の下に、普段からの御近所付き合いや地域における見守り活動の取組を推進します。
- 地域と連携し地域力を高めるため、各種団体等を育成します。

## 主な取組

### 1 見守り活動の充実

- 「見守りささえあい訪問」の実施
- 引きこもりがちな高齢者の声かけ・参加の声かけの実施
- 敬老長寿祝いの実施

### 2 地域における居場所づくり

- ミニデイサービスの開催
- 会食お楽しみ会の開催
- グランドゴルフ練習及び大会の開催
- 世代間交流給食会の開催

### 3 地域で支え合う人づくり

- 各種団体等と連携した小鮎ボランティアの登録・育成
- 民生委員・児童委員や小鮎ボランティアの会との研修会の開催

## 主な指標

指標	年度	前回値	現状値	目標値	
		H28(2016)年度	R元(2019)年度	R5(2023)年度	R7(2025)年度
ミニデイサービスの参加者数		2,203人	1,955人	2,350人	2,350人
小鮎ボランティアの登録者数		92人	91人	92人	92人

## 第6章

### 地区別計画

# 10 南毛利地区

## 現状と課題

- 高齢者の小地域による偏在やひとり暮らし高齢者、要支援・要介護認定者などが増加傾向にあり、日常生活や介護などへの不安解消に取り組む必要があります。
- 年少人口は減少傾向にあり、子どもやその親が孤立しないよう地域での居場所づくりに努める必要があります。

### ■ 地区別データ

令和2年10月1日 現在

区分	市	南毛利地区	区分	市	南毛利地区
人口	223,585人	38,651人	身体障害者手帳取得者	5,938人	938人
年少人口 (0~14歳)	26,767人	5,163人	療育手帳所持者	5,163人	303人
生産年齢人口 (15~65歳)	139,102人	24,548人	精神障害者保健福祉手帳所持者	1,942人	298人
老年人口 (65歳以上)	57,716人	8,940人	後期高齢者人口 (75歳以上)	27,490人	4,380人
高齢化率 (65歳以上)	25.81%	23.13%	高齢化率 (75歳以上)	12.29%	11.33%
要支援(1・2)	1,963人	282人	要介護(1~5)	6,267人	937人
避難行動要支援者登録数	2,642人	382人			

## 取組方針

- 気軽なお付き合いを通して見守り活動を推進します。
- 仲間同士、気軽に相談できる場を作ります。
- 地域福祉を支えるサポーターを育成します。

## 主な取組

### 1 見守り活動の充実

- ミニデイサービスの多様化の推進
- 高齢者昼食宅配事業の実施

### 2 地域における居場所づくり

- 子育てサロン「みなみちゃん」の開催
- 健康維持事業の実施

### 3 地域で支え合う人づくり

- サポーターの登録・育成
- 障がい者支援事業の実施

## 主な指標

指標	年度	前回値	現状値	目標値	
		H28(2016)年度	R元(2019)年度	R5(2023)年度	R7(2025)年度
ミニデイサービスの参加者数		1,469人	1,276人	1,200人	1,400人
サポーターの登録者数		31人	35人	40人	45人

※2020年は、新型コロナウイルスにより新しい生活様式の導入有

## 第6章

### 地区別計画

# 11 南毛利南地区

## 現状と課題

- 高齢化率が上昇していることから、支援が必要な対象者の把握について、自治会や民生委員・児童委員、地域包括支援センターなど、地域住民や関係機関等と連携を図りながら、より一層円滑に進める必要があります。
- 少子高齢化の急速な進展や近所付き合いの希薄化など、地域とつながり、支え合うきっかけを失っている方の孤立を防ぐため、地区市民センターや老人憩の家、児童館、学校などのほか、自治会館などを活用し、誰もが参加しやすい地域の「居場所づくり」をより一層進める必要があります。

### ■ 地区別データ

令和2年10月1日 現在

区分	市	南毛利南地区	区分	市	南毛利南地区
人口	223,585人	10,834人	身体障害者手帳 取得者	5,938人	307人
年少人口 (0~14歳)	26,767人	1,222人	療育手帳所持者	1,957人	69人
生産年齢人口 (15~65歳)	139,102人	6,994人	精神障害者保健 福祉手帳所持者	1,942人	71人
老年人口 (65歳以上)	57,716人	2,618人	後期高齢者人口 (75歳以上)	27,490人	1,298人
高齢化率 (65歳以上)	25.81%	24.16%	高齢化率 (75歳以上)	12.29%	11.98%
要支援(1・2)	1,963人	114人	要介護(1~5)	6,267人	280人
避難行動要支援 者登録数	2,642人	124人			

## 取組方針

- 共に支え合う地域社会を築くため、各種研修会の開催や広報紙の発行などにより、地域住民の福祉に関する意識高揚を推進します。
- 地域住民の福祉ニーズに応じた地域福祉活動を図るため、ミニデイサービスを開催するなど、自治会を単位とした、きめ細やかな事業の展開を推進します。

## 主な取組

### 1 見守り活動の充実

- 広報紙「あいのかけはし」発行による地域福祉活動に関する情報提供
- 敬老事業（敬老祝品の配付）の実施
- 民生委員・児童委員等を中心とした定期的な高齢者宅の訪問活動

### 2 地域における居場所づくり

- 子育てサロン「あいちゃん」の実施
- 会食会（昼食会、年3回）の運営
- ミニデイサービス（自治会別）の実施
- 愛甲小学校PTAふれあい大会に「昔あそびコーナー」を設営
- 地域福祉交流会（音楽会・クリスマス会等）の実施

### 3 地域で支え合う人づくり

- 地域福祉推進委員会委員研修（講演会・施設見学等）の実施
- ふれあい勉強会（講演会・実習等）の実施

## 主な指標

指標	年度	前回値	現状値	目標値	
		H28(2016)年度	R元(2019)年度	R5(2023)年度	R7(2025)年度
子育てサロン「あいちゃん」の参加者数		486人	387人	400人	430人
ミニデイサービスの参加者数		485人	436人	450人	480人

## 第6章

### 地区別計画

# 12 玉川地区

#### 現状と課題

- 地区の人口が市内で最も少なく、高齢化率は市内15地区中、2番目に高い割合となっています。里山を始めとした豊かな自然環境に恵まれ、昔から近所付き合いが深く残る地区です。
- 超高齢社会の中で、地域の担い手となる人材の確保及び育成に努める必要があります。

#### ■ 地区別データ

令和2年10月1日 現在

区分	市	玉川地区	区分	市	玉川地区
人口	223,585人	3,353人	身体障害者手帳取得者	5,938人	131人
年少人口 (0~14歳)	26,767人	296人	療育手帳所持者	1,957人	112人
生産年齢人口 (15~65歳)	139,102人	1,890人	精神障害者保健福祉手帳所持者	1,942人	21人
老年人口 (65歳以上)	57,716人	1,167人	後期高齢者人口 (75歳以上)	27,490人	622人
高齢化率 (65歳以上)	25.81%	34.80%	高齢化率 (75歳以上)	12.29%	18.55%
要支援(1・2)	1,963人	40人	要介護(1~5)	6,267人	175人
避難行動要支援者登録数	2,642人	53人			

#### 取組方針

- 住民のニーズに応じた地域福祉活動を推進します。
- 近所のつながりを大切にし、地域福祉の組織などをいかした助け合い、見守り活動の充実に努めます。
- 地域福祉等の担い手となる人材の確保や育成を図ります。

## 主な取組

### 1 見守り活動の充実

- 年2回の高齢者等見守り活動を実施
- 小中学生の登下校時の見守り活動を実施
- 活動の際はセーフティベストを着用

### 2 地域における居場所づくり

- 健康づくり活動を通じた健康長寿の里づくり
- ミニデイサービスの開催
- 子育てサロン「にっこにこ」の開催

### 3 地域で支え合う人づくり

- 地域福祉推進委員会ボランティア委員の登録・育成
- 地域福祉推進委員会委員研修会の実施

## 主な指標

指標	年度	前回値	現状値	目標値	
		H28(2016)年度	R元(2019)年度	R5(2023)年度	R7(2025)年度
ミニデイサービスの参加者数		180人	193人	220人	250人
子育てサロン「にっこにこ」の参加者数		268人	262人	270人	270人

## 第6章

### 地区別計画

# 13 森の里地区

## 現状と課題

- 少子高齢化が進展する中、地域における高齢者の孤立化を防ぎ、一人一人が生き生きと自立した生活を安心して送ることができる地域づくりを進める必要があります。
- 住民の多様なニーズに応えられる地域福祉推進事業に、より一層取り組むことが重要な課題であり柔軟な対応も求められています。
- 地域福祉を効果的に推進するためには、地域における各団体や学校、施設、事業者などとの連携強化を図るとともに、担い手となるボランティアを育成する必要があります。

### ■ 地区別データ

令和2年10月1日 現在

区分	市	森の里地区	区分	市	森の里地区
人口	223,585人	6,286人	身体障害者手帳取得者	5,938人	136人
年少人口 (0～14歳)	26,767人	499人	療育手帳所持者	1,957人	53人
生産年齢人口 (15～65歳)	139,102人	3,188人	精神障害者保健福祉手帳所持者	1,942人	31人
老年人口 (65歳以上)	57,716人	2,599人	後期高齢者人口 (75歳以上)	27,490人	997人
高齢化率 (65歳以上)	25.81%	41.34%	高齢化率 (75歳以上)	12.29%	15.86%
要支援(1・2)	1,963人	86人	要介護(1～5)	6,267人	190人
避難行動要支援者登録数	2,642人	69人			

## 取組方針

- 高齢者が安心して地域で生活できるように、住民間の見守りや支え合い活動の取組を推進します。
- 高齢者がいつまでも元気で心身共に健康であるために、集い交流し、情報交換及び相談ができる場づくりを推進します。
- 地域で支援を行うボランティアを育成したり、ボランティア団体の連携を深め、絆づくりに寄与したりするような場の提供に努めます。
- 子育て世代が地域で安心して子育てができる取組を推進します。

## 主な取組

### 1 見守り活動の充実

- 安心コール事業の実施
- 生活支援事業「もりの応援隊」の実施
- 地区の高齢者を招き「敬老会」を実施

### 2 地域における居場所づくり

- 高齢者居場所づくり事業「陽だまりの家」の実施
- ふれあい喫茶・森 café の開催
- 健康事業やミニデイサービスを企画し実施

### 3 地域で支え合う人づくり

- ボランティア団体との連携と活動への支援を行う
- 子育て支援事業（子育てサロン）の開催
- 森小ふれあい喫茶の開催

## 主な指標

指標	年度	前回値	現状値	目標値	
		H28(2016)年度	R元(2019)年度	R5(2023)年度	R7(2025)年度
ミニデイサービスの参加者数		291人	291人	300人	305人
安心コール利用者数		461人	687人	700人	720人

## 第6章

### 地区別計画

# 14 相川地区

## 現状と課題

- 相川地区は、観光農園などの農業が盛んな地域であり、新東名高速道路厚木南インターチェンジの開設や土地区画整理事業などの基盤整備が進む一方、高齢化率が増加傾向にあります。
- このような住環境の変化にも、地域に対する愛着を更に深めてもらうため、自治会やボランティア団体などと地域住民が連携を図りながら、全ての世代間の交流をより活性化する必要があります。

### ■ 地区別データ

令和2年10月1日 現在

区分	市	相川地区	区分	市	相川地区
人口	223,585人	13,633人	身体障害者手帳 取得者	5,938人	333人
年少人口 (0~14歳)	26,767人	1,710人	療育手帳所持者	1,957人	91人
生産年齢人口 (15~65歳)	139,102人	8,705人	精神障害者保健 福祉手帳所持者	1,942人	99人
老年人口 (65歳以上)	57,716人	3,218人	後期高齢者人口 (75歳以上)	27,490人	1,425人
高齢化率 (65歳以上)	25.81%	23.60%	高齢化率 (75歳以上)	12.29%	10.45%
要支援(1・2)	1,963人	104人	要介護(1~5)	6,267人	318人
避難行動要支援 者登録数	2,642人	139人			

## 取組方針

- 子育てに対する悩みの解消やストレスを和らげるため、子育て世代が活発に交流できる場を提供します。
- 高齢者が生き生きと暮らせるよう、小・中学校と連携を図り、世代間交流を推進します。
- ひとり暮らし高齢者へのゆるやかな見守り活動の取組を推進します。
- 未来を担う子ども達の活動や居場所づくりを地域の大人たちで支援することで、地域の絆を結びます。

## 主な取組

### 1 見守り活動の充実

- ひとり暮らし高齢者宅への配食サービスの実施
- 機関紙「にじ」発行による地域福祉活動に関する情報提供
- 敬老事業（敬老祝品の配付等）の実施
- 日常的な高齢者等の見守り・安否確認

### 2 地域における居場所づくり

- 子育てサロン「きらきら」の実施
- 世代間交流給食会（各小学校1回）の実施
- ミニデイサービスの実施
- 高齢者社会見学会の実施

### 3 地域で支え合う人づくり

- こどもまつりの実施
- 公民館まつりの実施

## 主な指標

指標	年度	前回値	現状値	目標値	
		H28(2016)年度	R元(2019)年度	R5(2023)年度	R7(2025)年度
子育てサロン「きらきら」の参加者数		647人	421人	650人	650人
「世代間交流給食会」の参加者数		109人	79人	120人	120人

## 第6章

### 地区別計画

# 15 緑ヶ丘地区

## 現状と課題

- ひとり暮らしを含む高齢者世帯が増加傾向にあることから、孤立化を防ぎ、一人一人が生き生きと自立した生活を安心して送ることができる地域づくりを進める必要があります。
- 高齢者人口の増加に伴い、高齢者が活動できる場の確保を始め、介護予防や生活支援の充実を図る必要があります。
- 小地域での相互助け合いを基本とする地域づくりの在り方について検討し、ボランティアの育成を図る必要があります。

### ■ 地区別データ

令和2年10月1日 現在

区分	市	緑ヶ丘地区	区分	市	緑ヶ丘地区
人口	223,585人	4,621人	身体障害者手帳取得者	5,938人	157人
年少人口 (0～14歳)	26,767人	600人	療育手帳所持者	1,957人	49人
生産年齢人口 (15～65歳)	139,102人	2,430人	精神障害者保健福祉手帳所持者	1,942人	51人
老年人口 (65歳以上)	57,716人	1,591人	後期高齢者人口 (75歳以上)	27,490人	892人
高齢化率 (65歳以上)	25.81%	34.42%	高齢化率 (75歳以上)	12.29%	19.30%
要支援(1・2)	1,963人	101人	要介護(1～5)	6,267人	172人
避難行動要支援者登録数	2,642人	76人			

## 取組方針

- 普段からの御近所付き合いや地域におけるゆるやかな見守り活動の取組を推進します。
- 誰もが気軽にふれあい活動ができる場を作ります。
- 地域福祉や小地域活動を支えるボランティアを育成します。

## 主な取組

### 1 見守り活動の充実

- ボランティア等による安心安全パトロールの充実
- 地域内での高齢者の見守り活動の実施
- 小中学生の登下校時の見守り活動の実施

### 2 地域における居場所づくり

- 緑いきいきサロンや小地域サロンなどの開催
- 高齢者の健康体操教室やラジオ体操などの開催
- 子育てサロン「陽だまり」の開催

### 3 地域で支え合う人づくり

- ボランティア育成講習会の実施
- 世代間交流事業の実施

## 主な指標

指標	年度	前回値	現状値	目標値	
		H28(2016)年度	R元(2019)年度	R5(2023)年度	R7(2025)年度
緑いきいきサロンの参加者数 (ミニデイ、高齢者会食会)		526人	265人	290人	330人
健康体操教室の参加者数		166人	174人	210人	250人



